

みんなで生き方を考えよう

道徳教育担当

だれもが安心して生活できるまちづくりをめざして

10月26日(土)「小中一貫・連携教育」の取り組みとして、田原中校区の小学校(田原小・貫小)の6年生と、本校1年生が協力し、地域清掃を行いました。一つの目的は来年度本校に入学してくる6年生と交流をもちいわゆる「中1ギャップ」を感じないようにしてもらおう、ということですが、もう一つは校区を清掃することで、地域の一員としての自覚を高め、地域に貢献する奉仕の精神を学んでもらいたいという目的です。

さて当日は、恥ずかしそうにしてなかなかお互い話しかけられなかったり、または近所の幼なじみ同士、先輩・後輩関係なく、親しげに話し合ったりしながらそれぞれ担当の公園等の清掃活動に励みました。

2年生はPTAの方々と一緒に花植えを行いました。色とりどりのきれいな花が心を和ませてくれています。

また、この取り組みを通して1、2年生全クラスで「公德心」をテーマにした道徳の授業を行いました。

♡公德心♡

社会生活の中で守るべき正しい道としての公德を大切にす

今回のテーマ

「公德心・社会連帯」

公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努めよう。



※今回は地域清掃体験に関連した資料を用いた1年生の授業を紹介します。

【資料の概要】

中学生になった直子は、バスケットボール部の先輩に誘われて、花火大会翌朝の清掃ボランティアに参加することにした。前日までは、早朝の集合時間、ゴミ拾いという内容に不安を感じていた直子。実際、活動は大変なものであったが、一緒に活動している地域のボランティアの方から、花火大会は多くの人の支えがあつてできていることを聞くことができた活動を終えた直子は参加してよかったと心から思えたのだった。

【生徒の感想より】

・ボランティアはめんどくさくてもやってみるといいこともあるし、世の中に役に立つこともあるんだなと思いました。・「ボランティア」ってすごいなと思った。私も教室のゴミをひろったりとかして「ちょっとしたボランティア」をしてみようと思った。・私も人の役に立てるようなことをしていきたいと思った。人の役に立つことがうれしいことというのをこの話をよんで知った。



☆2年生はNHK道徳ドキュメント「どうしてゴミをすてるの」という佐世保市の不法投棄へのさまざまな対策について調査してある映像を題材に、同じく公德心をテーマにした授業を行いました。

